



1月  
1 2 3 4 5 6  
7 8 9 10 11 12 13  
14 15 16 17 18 19 20  
21 22 23 24 25 26 27  
28 29 30 31

2月  
1 2 3 4

3月  
1 2 3 4 5 6

7 8 9 10 11 12 13

14 15 16 17 18 19 20

21 22 23 24 25 26 27

28 29 30 31

4月  
1 2 3 4 5 6

7 8 9 10 11 12 13

14 15 16 17 18 19 20

21 22 23 24 25 26 27

28 29 30 31

5月  
1 2 3 4 5 6

7 8 9 10 11 12 13

14 15 16 17 18 19 20

21 22 23 24 25 26 27

28 29 30 31

6月  
1 2 3 4 5 6

7 8 9 10 11 12 13

14 15 16 17 18 19 20

21 22 23 24 25 26 27

28 29 30 31

7月  
1 2 3 4 5 6

7 8 9 10 11 12 13

14 15 16 17 18 19 20

21 22 23 24 25 26 27

28 29 30 31

8月  
1 2 3 4 5 6

7 8 9 10 11 12 13

14 15 16 17 18 19 20

21 22 23 24 25 26 27

28 29 30 31

9月  
1 2 3 4 5 6

7 8 9 10 11 12 13

14 15 16 17 18 19 20

21 22 23 24 25 26 27

28 29 30 31

10月  
1 2 3 4 5 6

7 8 9 10 11 12 13

14 15 16 17 18 19 20

21 22 23 24 25 26 27

28 29 30 31

11月  
1 2 3 4 5 6

7 8 9 10 11 12 13

14 15 16 17 18 19 20

21 22 23 24 25 26 27

28 29 30 31

12月  
1 2 3 4 5 6

7 8 9 10 11 12 13

14 15 16 17 18 19 20

21 22 23 24 25 26 27

28 29 30 31

JA広報

1月号

NO.650

2月号

NO.651

3月号

NO.652

4月号

NO.653

5月号

NO.654

6月号

NO.655

7月号

NO.656

8月号

NO.657

9月号

NO.658

10月号

NO.659

11月号

NO.660

12月号

NO.661

JA広報

1月号

NO.662

2月号

NO.663

3月号

NO.664

4月号

NO.665

5月号

NO.666

6月号

NO.667

7月号

NO.668

8月号

NO.669

9月号

NO.670

10月号

NO.671

11月号

NO.672

12月号

NO.673

JA広報

1月号

NO.674

2月号

NO.675

3月号

NO.676

4月号

NO.677

5月号

NO.678

6月号

NO.679

7月号

NO.680

8月号

NO.681

9月号

NO.682

10月号

NO.683

11月号

NO.684

12月号

NO.685

JA広報

1月号

NO.686

2月号

NO.687

3月号

NO.688

4月号

NO.689

5月号

NO.690

6月号

NO.691

7月号

NO.692

8月号

NO.693

9月号

NO.694

10月号

NO.695

11月号

NO.696

12月号

NO.697

JA広報

1月号

NO.698

2月号

NO.699

3月号

NO.700

4月号

NO.701

5月号

NO.702

6月号

NO.703

7月号

NO.704

8月号

NO.705

9月号

NO.706

10月号

NO.707

11月号

NO.708

12月号

NO.709

JA広報

1月号

NO.710

2月号

NO.711

3月号

NO.712

4月号

NO.713

5月号

NO.714

6月号

NO.715

7月号

NO.716

8月号

NO.717

9月号

NO.718

10月号

NO.719

11月号

NO.720

12月号

NO.721

JA広報

1月号

NO.722

2月号

NO.723

3月号

NO.724

4月号

NO.725

5月号

NO.726

6月号

NO.727

7月号

NO.728

8月号

NO.729

9月号

NO.730

10月号

NO.731

11月号

NO.732

12月号

NO.733

JA広報

1月号

NO.734

2月号

NO.735

3月号

NO.736

4月号

NO.737

5月号

NO.738

6月号

NO.739

7月号

NO.740

8月号

NO.741

9月号

NO.742

10月号

NO.743

11月号

NO.744

12月号

NO.745

JA広報

1月号

NO.746

2月号

NO.747

3月号

NO.748

4月号

NO.749

5月号

NO.750

6月号

NO.751

7月号

NO.752

8月号

NO.753

9月号

NO.754

10月号

NO.755

11月号

NO.756

12月号

NO.757

JA広報

1月号

NO.758

2月号

NO.



# TOPICS

今月の表紙……

今年度、新規就農者として激励された方は新規学卒や、すでに就農されていた方もいます。地域全体で支えあって営農し、JA伊達市管内の農業を守っていきましょう！

## ■新規就農者激励状贈呈式

11月30日(火)、新規就農者激励状伝達式をJA伊達市本所で開催しました。

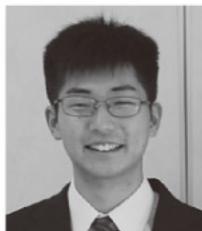
新たに参入した就農者4名には佐藤組合長から激励状と記念品が手渡されました。今年は親元就農のみで、後継者として営農していく方や経営移譲をした方が激励されました。

農業者の減少が進む中、農家を志した方々の活躍を期待しています。



激励会のようす

## 〈新規就農者紹介〉



荒 誠 人さん  
(経営者 荒 慎一さん)  
稀府地区  
米・野菜・畑作



荒 井 優 太さん  
東地区  
米・野菜



佐 藤 友 徳さん  
東地区  
野菜



佐 藤 聖 子さん  
(佐藤 友徳さんの妻)

## ■伊達開来高校 インターンシップ

11月12日(金)、伊達開来高校のフィールドスタディが上長和地区の圃場で行われました。

農家の仕事を一部体験することで次世代の職業選択の視野を広げることを目的として行われ、農薬散布用ドローンの操作方法や操作中のモニターの動作、自動操舵トラクターの試乗や画面操作方法などを体験しました。ここ数年のスマート農業の進化を体験し、農業の機械化や省力化で農作業が軽減されることを学びました。

参加した生徒は「体験出来て良かった」と話していました。



トラクター試乗のようす

## ■JA北海道大会

11月16日(火)、第30回JA北海道大会を札幌市の共済ホールで開催されました。

新型コロナウイルス感染対策のため、青年部長や女性部役員、JA役職員の計20名がWEB参加となりました。記念講演の後、大会決議が行われ、将来ビジョンである「北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある地域社会」」の実現に向け、JA運営の好循環における組合員との対話や役職員・組合員の人づくり、JA経営基盤強化などが盛り込まれました。

J Aを取り巻く環境の変化に応じた取り組みの実現を図ります。



WEB開催のようす

## ■ビート収穫順調に

11月上旬、伊達市内のビート収穫が最盛期を迎えました。市内のビートは45戸の生産者で314ha 生産しており、干ばつの影響を受けながらも数量・糖度共に平年並みと予想されています。

今年は伊達てん菜MR利用組合を発足し、高齢化や労働力不足、経営面積拡大による作業委託の需要が高まっており、作付面積の維持と効率的な機械利用を目的としています。定植では約40ha、収穫は20haを受託し、余力ある生産者が担っています。作業や受委託に関するごとでお困りの方は北海道糖業道南製糖所原料課へお問い合わせください。



収穫のようす

## ■ 廃プラ回収作業

11月18日(木)から19日(金)の2日間、SDGsの取組の一環として農業用廃プラスチックの回収作業を行いました。組合員の方々が搬入した塩ビやポリの入ったフレコンバックをフォークリフトで降ろし、重量を計測し回収しました。

今回は、123件の組合員の廃プラが塩ビとポリを合わせて53tが回収され、6月の回収分よりも11t少なくなりました。

回収された廃プラは破碎・溶融処理などを経て再生資源として生まれ変わります。リサイクルを促進し、持続可能な農業とクリーン農業の実践を心がけましょう。



廃プラ回収のようす

## ■ 伊達野菜PR

11月20日(土)、JA伊達市女性部、青年部、地域貢献委員会の合同で、くみあいマーケット本店内にて今年度6回目となる伊達産野菜の無料配布を行いました。

先着200名の方に限定し、配布した野菜は10品目で、キャベツやブロッコリー、ダイコンなど旬な野菜を取り揃えました。今年度最後となる無料配布は配布する生産者と消費者で多くの対話を実現することができました。

消費者の声を聞き、実際の営農や伊達野菜のPRと消費拡大につなげていきます。



野菜配布のようす

## ■ 2021JA伊達市農業機械フェア

11月20日(土)、伊達市スマート農業研究会では、2021JA伊達市農業機械フェアを野菜集出荷場で開催しました。

農業機械展示ではヤンマーやイセキ、クボタのトラクターの他にロボットトラクターや田植え機、スプレーヤーなどが並びました。農薬散布用ドローンでは最新のT30やT10、農業用無人車R-150などの展示、実演がありました。

伊達市近郊の農業者や関係者など約90名が来場し、最新機器の説明などを聞いていました。地域の実態に見合ったスマート農業の導入を検討していきます。



農業機械フェアのようす



## ■青年部さつまいも学校給食へ

11月30日(火)、青年部で生産したさつまいもを食育センターに搬入しました。

12月1日(水)の伊達市内、壮瞥町などにある小中学校の学校給食約2,800食に大学芋として提供されました。食育活動の一環として地場産の野菜を学校給食に使用し、食を通じて食の大切さや地産地消など様々な観点から地域の子供たちに農業や生産者の思いを伝えています。

今年の学校給食には、えったま333や鶏肉、豚肉など地場産の食品が多く使用されています。



給食食材搬入のようす

## 令和3年度狩猟免許について

### ○狩猟免許試験

試験日：令和4年2月6日(日) 9時～

場所：むろらん広域センタービル

受付期間：令和3年12月21日(火)～令和4年1月21日(金)

予約：振興局へ直接電話(TEL: 0143-24-9577)

※胆振総合振興局管内で定員24名のため早めに連絡願います。

### ○獣友会による予備講習会

日時：令和4年1月23日(日) 9時～16時

要予約：令和4年1月14日(金)まで

場所：室蘭市中小企業センター(室蘭市東町4-29-1)

受講費(税込)：①第一種・第二種銃猟免許 各 11,000円

②わな猟免許・網猟免許 各 8,250円

③わな猟・網猟免許(同時) 11,000円

※①と②を同時に受講する場合は受講費が変わります。

申し込み先

J A伊達市 営農指導課 農業振興係

TEL: 23-2181



# 令和3年度 年末年始営業日

令和3年12月30日(木)～令和4年1月6日(木)

	本 所		登別 支所	クミカン 窓 口	グリーン センター	機 械 センター	マーケット	授精 生乳 検査
	金融 共済	ATM	ATM					
12月30日(木)	○	○	○	○	○	○	○	○
12月31日(金)	×	×	×	×	×	×	9:00 ～ 17:00	○
1月1日(土)	×	×	×	×	×	×	×	○
1月2日(日)	×	×	×	×	×	×	×	○
1月3日(月)	×	×	×	×	×	×	9:30 ～ 17:00	○
1月4日(火)	○	8:30 ～ 17:00	×	×	×	×	17:00	○
1月5日(水)	○	17:00	×	×	×	×	○	○
1月6日(木)	○	○	○	○	○	○	○	○

ご理解・ご協力よろしくお願いします。

JA伊達市の公式



フェイスブック  
**Facebook**



インスタグラム  
**Instagram**



JA.DATEISHI.HOKKAIDO

農業・地域に係る様々な情報を発信していくますのでよろしくお願ひいたします！  
(担当:営農指導課)



J Aグループ北海道では、令和3年11月16日に、第30回JA北海道大会を開催いたしました。本大会は、グループの基本方針を確認し関係者の意識を統一することを目的に、3カ年に1度、全道から組合員の皆さんの代表者が札幌に集まり開催しているものです。

今回の大会では、グループの将来ビジョン“北海道550万人※と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある地域社会」”を実現すべく令和4～6年度におけるグループの基本目標として、「JA運営の好循環に向けて対話の成果を実践」「JA運営の好循環を支える人づくり・JA経営の強化」が定められました。

本決議をもとに、組合員・JA・連合会一丸となって、JA運営のスパイラルアップに繋がるよう取り組みましょう。

※550万人とは、「道民」と「北海道にゆかりのある道外の方々」のことを指します。



↑大会実行委員長挨拶を述べる中央会小野寺会長

## JA北海道信連



特殊詐欺被害については、新聞・テレビなどで連日報道されている通り、新たな手口が拡がるなど大きな社会問題となっています。JAバンク北海道では、11月～1月にかけ、道内のJAバンク店舗でご来店者に対する声かけ運動を行うとともに、STVラジオでオリジナルコーナーを設け、北海道警察の専門家から、詐欺の手口や気を付けるポイントを説明いただくなど、啓発活動に取組んでいます。



JAバンクでは、引き続き北海道警察と連携し、特殊詐欺被害の撲滅に向け取組んで参ります。

## ホクレン



ホクレンは、北海道日本ハムファイターズと共同で取り組んでいる「北海道農業応援プロジェクト」の一環として、10月1日に札幌ドームで開催された北海道日本ハムファイターズ vs 埼玉西武ライオンズ戦に協賛し、「ホクレン北海道農業応援ナイター」として試合が行われました。試合観戦に訪れた来場者に向けて北海道農畜産物のPRや農業への理解を深めてもらおうと特設ブースを設置。ホクレン大収穫祭などのチラシを配布するほか、大型ビジョンでCM放映を行うなどPR活動を行いました。



J Aグループ北海道の連合会の活動内容を紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

## JA共済連北海道



JA共済連では、地域社会貢献活動の一環として昭和50年から毎年道内各市町村の消防本部に救急車を寄贈しております。今年度の寄贈台数は3台であり、十勝地区の中札内消防署、留萌地区の羽幌消防署、上川地区の上富良野消防署に寄贈いたします。

当年度の救急車の寄贈が完了しますと、寄贈させていただきました台数は累計で212台となります。

今後も行政とJAとの連携をしながら、組合員ならびに地域住民に安心と安全の提供を続けるように努力してまいります。



## JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るために、本会事業の積極的な啓発推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。本号ではプレゼント企画も行っております。QRコードからWeb上で閲覧・応募が可能となっておりますので、ぜひご応募ください。



Web上の  
閲覧・応募  
はこちらから  
↓

大地がひとを強くする。

**AGRIACTION!**  
HOKKAIDO





牛乳でつくる！

北海道♪ミルクカルボナーラ

材料（2人分）

- ・特選よつ葉牛乳：200ml
- ・よつ葉バター 加塩：10g
- ・フェットチーネなど（なければ普通のパスタで代用可）：200g
- ・ベーコン：50g

作り方

- ①「特選よつ葉牛乳」を使います。
- ②鍋に湯を沸かし、フェットチーネを通常より1分短めにゆでる。
- ③ベーコンは1cm幅に切り、ニンニクはみじん切りにする。卵は溶いておく。
- ④フライパンにバターを入れて火にかけ、ニンニク、ベーコンを炒め、香りが立つたら薄力粉をふり入れて混ぜる。
- ⑤「特選よつ葉牛乳」を注いでひと煮立ちさせ、塩を加えて弱火にする。
- ⑥ゆで上がったフェットチーネをざるにあけ、湯を切つて⑤に入れ、軽く混ぜて火を止め、③の溶いた卵を

・ニンニク：1片

・薄力粉：小さじ1

・卵：2個

・塩：小さじ1／3

・ブラックペッパー：少々

レシピの特徴

生クリームやチーズがないときで

も、「特選よつ葉牛乳」の上質なコクで、すつきりとまろやかなカルボナーラが楽しめます。フェットチーネがない場合は、普通のパスタでもおいしくつくれます。

北海道コンサドーレ札幌選手寮

## しまふく寮の レシピ紹介

北海道コンサドーレ札幌と  
JAグループ北海道は

Vol. 3

食農パートナーです！

「牛乳でつくる！  
北海道♪ミルクカルボナーラ」



北海道コンサドーレ札幌の管理栄養士  
**小松先生のコメント**  
練習や試合前のエネルギー補給に必要な「炭水化物」、「ビタミンB1」、「ビタミンB2」、「カルシウム」をすべて兼ねそなえたレシピです。試合の3時間前、1試合分にピッタリのメニューです。1時間半、2時間の練習前にはパスタを増量で！ 皆さんもぜひ、お試しください。

北海道コンサドーレ札幌とJAグループ北海道は、相互連携協定を結び、食農教育・社会貢献活動を展開しています！



ド ファーム  
●コンサ・土・農園



●よい食JA親善大使



JAグループ北海道は、「コンサ・土・農園」や「よい食JA親善大使」を通じて、北海道コンサドーレ札幌とともに、食の重要性を幅広く発信しています。

**J A グループ北海道**

# 自分で守れますか？ 若い農業者の皆さん！ 自分の老後

若い  
今こそ年金  
アクション！

若い農業者の方は、  
国民年金の上乗せの  
公的な年金「農業者年金」に加入して  
安心で豊かな老後を！



ポイント

1

保険料は自由に選べる！（2万円～6万7千円、千円単位）  
さらに、35歳未満であれば、

1万円からでも加入可能！

ポイント

2

認定農業者で青色申告者等には、  
国庫補助で手厚い支援！

1万円の自己負担で2万円の積立てが実現！

ポイント

3

自ら支払った保険料は、  
全額社会保険料控除の対象！  
その他にも、税制面で優遇措置がある！

詳しくは… 農業者年金基金  <https://www.nounen.go.jp>



## 杉田弁護士コラム②

### 令和4年前半の入国見直しと JAにおける必要な対応策

#### 第1 はじめに

令和3年11月8日から、一部国際的な人の往来が再開され、外国人材の入国も行われようとしていました。しかし、新たに流行が懸念される新型コロナウイルス感染症の変異株（オミクロン株）が登場したことにより、令和3年12月30日までの間、再度、外国人材の新規の入国は停止されることになりました。

ここでは、11月8日から始まった入国再開措置、12月30日まで執られた再度の入国停止措置の概要をお伝えし、最後に必要な対応策を検討したいと思います。

#### 第2 令和3年11月8日から始まった入国再開措置について

11月8日から始まった入国再開措置は、令和3年11月5日付「水際対策強化に係る新たな措置（19）」（以下では「措置（19）」といいます。）により認められるようになりました。

措置（19）により新たに設けられた入国のための手続は、業所管官庁（農業分野は農水省）に措置（19）により入国するための申請書及び添付書類を提出し、審査を経て発行される審査済証を添付すれば、ビザ（査証）の交付を受けて入国することができるという手續です。

技能実習生で入国を待っている方は多くいるため、措置（19）では、一般（優良）監理団体及び、11月26日からは一部の特定監理団体に監理される技能実習生について、在留資格認定証明書が作成された順番で整理し、入国のための手続を行うことができると定めました。

在留資格認定証明書の作成時期と手続ができる時期の対応関係は、次のとおりです。

#### 第3 令和3年12月30日まで執られた再度の入国停止措置

このように、令和3年11月8日から入国再開の手続が開始されましたが、この入国再開措置は、令和3年11月30日から令和3年12月31日までの間停止されることになりました。

これは、新型コロナウイルス感染症の変異株であるオミクロン株の感染例が海外で報告されたため、水際対策を強化するものであり、令和3年1月29日付「水際対策に係る新たな措置（20）」（以下「措置（20）」といいます。）で定められたものです。

措置（20）は、オミクロン株の影響を見極めるための緊急避難的対応であり、令和4年1月以降にどのような取扱いがされるかについては、現時点での見通しは立っていません。

#### 第4 令和4年前半の必要な対応策

これまでご覧頂いたとおり、令和3年11月は、出入国の再開と再度の停止が行われ、対応に悩まれた方も多いと思います。

日本では、現在のところ感染の広がりはコントロールされていますが、諸外国では感染者数が増加している国もあり、新型コロナウイルス感染症が今後どのような推移を見せるか不透明な状況にあります。

このような状況にあって、令和4年前半に確実に外国人材の新規入国があるものと考えることは難しい状況だといえます。そのため、措置（20）が終わり、入国手続が再開された場合に手續が円滑にできるように準備しておくことに加え、令和4年前半に入国がなかった場合の対応を予め準備しておくことが必要といえます。

在留資格認定証明書作成日	措置（19）による申請時期（現在は停止中）		
	2021年11月	2021年12月	2022年1月
2020年1月1日～ 6月30日	○	○	○
2020年7月1日～12月31日	×	×	○
2021年1月1日～ 3月31日	×	×	○

安心  
安全

国がつくった

# 小規模企業共済

こんな悩みにお応えします

年金だけでは不十分で、  
不安がある

自分で積み増しするには、  
どんなものがあるの？

## 制度の特長

1

### 経営者のための退職金制度

小規模企業の個人事業主（共同経営者を含む）または会社等の役員の方が廃業や退職後の生活資金、事業再建資金をあらかじめ準備しておく共済制度です。

2

### 掛金は全額所得控除

掛金は、全額が「小規模企業共済等掛金控除」として、課税対象所得から控除できます。

3

### 受取時も税制メリット

共済金の受取は、一括の場合は「退職所得扱い」、分割の場合は「公的年金等の離所得扱い」です。

他にもこんな特徴があります。

#### ■ 契約者貸付けの利用が可能

契約者（一定の資格者）の方は、緊急時や災害時などに事業資金等の貸付けが受けられます。

#### ■ 共済金の受給権は差押禁止

共済金・解約手当金の受給権は、国税等滞納の差押え以外は差押禁止債権として保護されます。

※ 詳しくは、ホームページまたはパンフレットをご覧下さい

共済相談室 TEL. 050-5541-7171  
【受付時間】平日 9:00~17:00

AIRPORT

経営者のための  
退職金制度です！

Be a Great Small.  
中小機構

## チャットボットなら24時間・365日お問い合わせにお答えします

加入資格・手続きについてのご質問を  
チャットでご回答いたします。  
詳しくは右記のQRコード又はホームページ  
からご確認ください。

小規模共済

検索

加入・掛金のご質問は  
こちらをクリック  
24時間いつでも  
チャットで質問可能です

小規模企業共済



2021.6

## 地区別組合員懇談会日程

令和4年1月11日(火)～15日(土)

※12日(水)を除く

日 時	地 区	会 場
11日(火)	10:00～	黄金・室蘭地区
	13:30～	東 地 区
13日(木)	10:00～	長 和 地 区
	13:30～	有 珠 地 区
14日(金)	10:00～	中 央 地 区
	13:30～	関 内 地 区
15日(土)	10:00～	稀 府 地 区
	13:30～	登 別 地 区



理事会の動き

▶第23回理事会…令和3年11月30日(火)

- 第1号 早期警戒制度適用による5ヶ年収支シミュレーションについて
- 第2号 役員に対する資金供給について
- 第3号 クミカン供給限度額及び貸越極度額の変更について
- 第4号 営農計画書の審査方針並びに基準について
- 第5号 令和3年度決算見込み及び年末賞与支給について
- 第6号 農事組合長会議日程及び地区別組合員懇談会日程等について
- 第7号 年末年始の業務日程について
- 第8号 農事組合長会議の議案について
- 第9号 産地生産基盤パワーアップ事業(トマト選果機導入等)に係る資金借入について
- 第10号 第3・四半期監事監査日程について

J Aの家庭雑誌

お申し込み受付中

あなたの元気が  
わたしの元気

**家の光**

お申し込みはJAへ

農と食の  
総合雑誌

地上

●普通月号  
税込 **629円**  
●付録月号  
(1・4・5・7・9月号)  
税込 **922円**  
●付録月号  
(家計簿付12月号)  
税込 **1,027円**

定価(税込み) / 普通月号 ..... 618円  
付録付号(4・11月号) ..... 680円

**農事組合長会議日程**

○ 日時:令和3年**12月17日(金)**

10時00分より

○ 場所:伊達市農協本所 2階会議室

未来を変える。  
みんなで変える。

国営緊急農地再編整備事業

「伊達地区」 Vol.50

令和3年度伊達地区国営  
緊急農地再編整備事業促進期成会  
第3回役員会を開催

11月2日(火)、第3回促進期成会役員会を開催しました。

今回の役員会では、下記①について、審議を行い承認されました。

また、②～⑥についての報告を行いました。

①農業経営高度化促進事業(促進費)の活用について

②上館山地区における工事の実施年度について

③上館山地区・大平地区 換地委員会の設立について

④土壤調査、分析事業について

⑤旧長和小学校の跡地利用について

⑥伊達市農地銀行制度について

令和3年度第2回上館山地区  
換地委員会を開催しました

11月12日(金)に令和3年度第2回上館山地区換地委員会を開催しました。

今回の委員会では以下の項目について審議を行いました。

①土地評価の項目について

②現地調査の進め方について

審議内容・結果については伊達市ホームページ内で公表しております。

◆問い合わせ先

伊達地区国営緊急農地再編整備事業

促進期成会事務局

(伊達市経済環境部農務課農地再編推進室内)

TEL0142-82-3201(直通)



発行 伊達市農業協同組合(営農指導課編集)

〒052-8666 伊達市末永町74 TEL 0142-23-2181  
E-mail kouhou@ja-dateshi.or.jp http://www.ja-dateshi.or.jp



ホームページ



フェイスブック



インスタグラム

